

## 「国立台湾大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学法学部 後藤あい

今回私が参加した三週間の国立台湾大学スプリングスクールは、平日毎日3時間の中国語の授業、午後の2時間の文化学習や Field trip、そして最終日の Final Presentation、から構成されているプログラムでした。この三週間は、語学力の向上、価値観の変化をもたらしてくれたことから、私にとって非常に有意義なものだったと言えます。

まず、私が中国語を学び始めたのは、このスプリングスクールの事前学習として大学が提供してくれた計10時間の授業でした。そんな初心者の私が、中国語を聞いて理解したり、話したりできるようになるなんて考えられなかったうえ、渡航前は言葉の通じない国に長期間滞在すること、中国語の授業についていけるのかなど色々心配でした。でも、そんな不安は必要ありませんでした。まず授業に関しては、渡航後のテストでクラス分けが行われたので、プログラム参加者はそれぞれ自分のレベルにあった授業を受けられました。私が授業を受けていた初心者クラスでは、英語と簡単な中国語を使って、ピンインや声調といった初歩段階から丁寧に教わる事が出来ました。そして先生に分かりやすく授業を教えて頂いたおかげで、最後の成果発表会では簡単な自己紹介をしたり、クラスのみならず劇や歌を披露したりできるくらいに中国語力が向上しました。また、繁体字で中国語を学べたのも、このプログラムならではの魅力だと思います。大陸で使われている簡体字よりも、繁体字の方が日本語の漢字と似通っているので、見ただけで大体の意味を推測できる字も多くありました。

次に、外国で三週間滞在することは私にとって初めての経験だったので、異文化に囲まれた非日常な環境に身を置くことで、自分の中で考え方が変わったと思います。地理的には日本と近距離にある台湾も、その背景が違えば言語も文化も異なることを実感しました。例えば、台湾のバスに乗ると目の前の車窓には緊急時に備え脱出用ハンマーが設置されています。自分の身を危険から守ることは乗客自身に任されていることを肌で感じました。そうはいっても、滞在中お世話になった国立台湾大学のスチューデントアドバイザーの皆さん、私の中国語の先生や台湾大学のスタッフの皆さんなど、台湾の人々の心優しさや温かさは、どこの国でも共通したものでした。彼らのおかげで、私の台湾生活はとても素敵な思い出になりました。また、京都大学や他の大学から来たスプリングスクール参加者のみんなも含め、この短期留学に申し込まなければ決して出会うことのなかった方々と出会うことが出来ました。バックグラウンドのそれぞれ違う彼らと就活や進路のことなどを話したことで、刺激を受け意識が高まった一方で、このプログラムを経て、将来日本と海外をつなぐことのできるような職に就きたいと感じました。そのために、交換留学で長期間海外へ滞在する経験も積みたいです。

最後に、今回のスプリングスクールに携わってくださったすべての方々のおかげで、私はこのプログラムを通じて成長することが出来ました。皆様、本当にありがとうございました。